

立憲民主党の緊急経済対策

くらしを守る
いのちを守る
賃上げを加速する



詳しくはコチラ

食品消費税0%の実現と 世帯あたり16万円の支援金

※4人家族・2人の子がいるモデル年収世帯の場合



ポイント
1 来年10月から
食品の消費税を
ゼロ%に

ポイント
2 それまでのつなぎとして、
即効性のある
現金給付

ポイント
3 借金
(赤字国債)
に頼らない

参議院選挙が終わってから約4か月、政府・与党は物価高対策を何もしていません。立憲民主党は政府・与党の無策に強い危機感を覚えています。物価高等により日々厳しさを増す国民生活を守るために、一刻も早い経済対策が必要です。

立憲民主党の「本気の物価高対策」の実現に、皆様のお力を貸しください!

第1の柱

食品消費税ゼロ



来年10月1日から飲食料品にかかる消費税率を時限的にゼロにします(議員立法提出済み)。

「物価高・食卓緊急支援金」



2.7兆円

食料品消費税ゼロ実施までのつなぎの措置として、中低所得者世帯に1人当たり3万円、
すべての子どもに1人当たり2万円を給付します。

「くらしを守る」



地域の実情に応じた生活支援

4000億円

灯油・LPガス等の価格高騰に対する支援、学生・低所得者世帯・子育て世帯・高齢者世帯等への家賃補助、最低賃金を引き上げた中小企業への支援など、地域の実情に応じた施策を実施するための資金を地方公共団体に交付します(重点支援地方交付金)。



ガソリン・軽油の減税



1.5兆円

11月27日から軽油減税(17.1円/L)、12月11日からガソリン減税(25.1円/L)が実質的に
スタートします。夏の参議院選挙で立憲民主党が約束した減税が実現します。

第2の柱

「いのちを守る」



経営困難な病院や介護施設等を支援

約2兆円

地域住民が質の高い医療サービス、介護サービスを安定的に受けられるようにするために、物価などで経営が苦しくなっている病院・診療所、訪問看護ステーション、介護・障がい施設を支援し、同時に介護事業所などの職員の賃金を引き上げます。

公立学校の老朽化対策、バリアフリー化など

約1400億円

公立学校で子どもたちが安全な環境で質の高い教育を受けられるようにするための老朽化対策、バリアフリー化・体育館への空調設備整備などを進めます。

クマ被害対策の強化・拡充



300億円

毎日のように報道されるクマ被害から国民生活を守るために、クマ捕獲活動費拡充、ガバメントハンターの人材確保・育成、子どもたちの通学の安全確保を進めます。

第3の柱

「賃上げを加速する」



「130万円のガケ」対策

3900億円

「103万円のカベ」「106万円のカベ」より深刻な「130万円のガケ」(年収130万円に達すると社会保険料負担が生じ、手取り収入が減る)に対応するため、手取り額が減らないように給付金を支給します。



保育士などの皆さんの処遇改善

約1100億円

平均的な賃金を下回る保育士・幼稚園教員・学童保育指導員・児童養護施設職員等の賃金を引き上げます。

中小企業が負担する社会保険料の負担軽減

約130億円

中小・小規模企業が新しい人を雇い入れた場合(非正規から正規への切替を含む)に生じる社会保険料負担の一部を軽減し、企業が新たに人を雇いやすくなります。

緊急経済対策の財源 立憲民主党の経済対策を実行するために新たに必要な財源は7.4兆円です。

この財源は、借金(赤字国債を発行)することなく、今年度分の税収の増加、特別会計の剰余金、政府が保有する基金の積み過ぎ分を活用して、確保します。

地域の立憲民主党はこれら



立憲民主党 立憲民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
三宅ビル7F
Tel.03-3595-9988
Fax.03-3595-9088